

事務事業 No./名称	■サービス部門 拠点-07 推進事業(大船駅東口市街地再開発事業特別会計) □支援部門						
主管課	再開発課	関連課	まちづくり景観部・都市整備部				
分野名	市街地整備						
目標 (目標値)	再開発事業の完了						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	60,524	33,087	26,483			
	(国・県)	5,200	5,900				
	(負担金等)						
	(一般財源)	55,324	27,187	26,483			
	人員配置数	6.0	6.0	5.0			
	人件費(千円)	51,376	50,836	43,947			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	111,900	83,923	70,430			
	市民1人当りの経費(円)	631	474	399			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
再開発事業の進捗状況	○	目標値	25%	30%	35%	40%	100%
		実績値	25%	30%	35%		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
推進事業	299千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	管理施設等の維持修繕等を行った。			
推進事業	58,005千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	権利者の理解促進を図るとともに、基本計画(案)を策定し事業推進を図った。			
権利者助成事業	2,220千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	大船駅東口第一種市街地再開発事業(第1地区)実施の際、事業区域内の土地又は建物に権利を有する者に対し、必要な資金を融資して事業の推進を図ったもので、資金融資取扱金融機関に対し、融資残額の1/4を預託した。			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A □B □C □D □E	
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A □B □C □D □E	
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A □B □C □D □E	

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	第2地区の再開発事業を進めるためには、事業に対する権利者の基本的な理解と協力が必要であることから、再開発事業基本計画(案)に対する合意形成に向けた取り組みが必要。
課題解決のための取組	基本計画(素案)について、権利者・市民・近隣商店会への説明会及びホームページ等により市民の意見を募集し、これらを踏まえて11月に基本計画(案)を策定した他、基本計画(案)に基づく計画の具体的なイメージを提示しながら、ブロック別検討会及び個別面談により権利者の理解促進を図った。
未解決の課題	権利者の一部で、事業に対する根強い反対がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了		
	➡	②妥当性 ○		↓	各種関係機関との協議を進め、平成24年8月頃から都市計画変更手続きを開始し、平成24年度末に都市計画変更を行う。 併せて、民間活力の導入を図るためにプロポーザル方式により民間事業協力者を選定し、権利者の合意形成を図ると共に、先行して事業に着手する街区の見極めを行う。	課長等名	
		③有効性 ○				A	再開発課担当課長
		④公平性 ○					吉田 浩

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	タイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
推進事業	535	管理施設等維持修繕費	310	299	■適切	□見直し余地あり
推進事業		494 事業協力者選定委員会委員報償費	208	0	■適切	□見直し余地あり
		494 市街地整備アドバイザー報償費	306	255	■適切	□見直し余地あり
		494 大船駅東口市街地再開発事業推進業務委託料	15,750	15,750	■適切	□見直し余地あり
		494 大船駅東口市街地再開発事業概略基本設計業務委託料	50,400	42,000	■適切	□見直し余地あり
権利者助成事業	495	鎌倉市再開発事業資金融資預託金	2,220	2,220	■適切	□見直し余地あり
					□適切	□見直し余地あり
					□適切	□見直し余地あり